

東京医科歯科大学難治疾患研究所市民公開講座 —最先端生命科学講座シリーズ 第8回—

厚生労働省障害者対策総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、2009年には文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究していますが、本市民講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすく紹介しています。今回は筋肉の病気を中心に遺伝子のはたらきを研究する2人の講師がご案内します。最近話題の3Dプリンターで作ったゲノムや蛋白質の立体モデルを手にとり見て頂きます。

日時：平成26年2月21日(金)午後6時～9時
場所：文京シビックホール3階会議室1・2

講演 1 話題の3Dプリント！で理解する ゲノムのはたらきと筋肉の病気

講師：田中 裕二郎



近年のゲノム科学の進歩により、これまで原因不明とされて来たいろいろな病気の原因が次々に明らかにされています。今回は、遺伝子のはたらきを調節する酵素やゲノムの立体モデルに触って頂き、顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーという筋肉が萎縮する病気の原因や治療法の可能性について最新情報をご紹介します。

講演 2 遺伝子のプロセシング暗号を解いて 心臓や筋肉の病気を治す！

講師：黒柳 秀人



遺伝子はまずRNAに転写され、次いでRNAの暗号を基にさまざまな機能をもつ蛋白質が合成されます。RNAがプロセシング(加工)を受けることで、1つの遺伝子から何種類もの蛋白質が作り分けられるしくみが解ってきました。RNAの正確なプロセシングのための暗号を解読する研究と、それによって心筋症や筋ジストロフィーなどの病気を治す試みについてをご紹介します。

皆様のご参加をお待ちしております。(入場無料)

事前登録は不要ですが、予約を希望される方は文京区の担当まで住所・氏名・電話番号・「最先端生命科学8」を記した往復はがきでお申込み下さい(区ホームページからも申込可)。

©〒112-8555 文京区アカデミー推進課 ☎(5803)1307

共催：学際生命科学東京コンソーシアムは東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。